

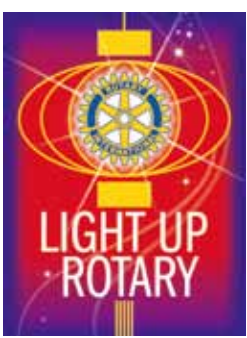


Rotary Club of KOBE EAST  The Rotary club of Kobe East Bulletin
神戸東ロータリークラブ会報
No.375 2014-2015 No1

表紙絵：太原 震也元会員

会長／乙守 典厚 副会長／吉井 正幸 幹事／澤田 正樹 雑誌会報委員長／田中 義明 副委員長／弘田 芳裕
例会場：ホテルオークラ神戸 例会曜日：毎週火曜日

クラブ会長テーマ 「希望を抱いて 輝きを！」



RI President 
ゲイリー C.K. ホアン
2014-2015年度国際ロータリー会長





神戸東ロータリークラブ
会長
理事 **乙守典厚**

2014～2015 年度 会長テーマ

「希望を抱いて 輝きを！」

神戸東ロータリークラブは、今から約 60 年前神戸クラブをスポンサーとした新しいクラブを作るという大きな志を持った 33 名のチャーターメンバーによって創設されました。

60 年という年月を経るなかメンバーを増やし、今では地区で 2 番目という大きなクラブに育っております。

神戸東クラブが創設された時期は、日本も明るい未来に向かう成長期であり、ロータリークラブも同様に成長を続けて参りました。

しかし、振り返ってみると確かに経済も文化も生活も向上し豊かになっておりますが、60 年前の希望や輝きは影を潜め、元気を失くしてしまったような気が致します。これは、ロータリークラブにおいても同様のことではないでしょうか？

創立 60 周年という節目を越えた今年度は、今一度過去を見直し、現在を見つめ将来に目を向け、魅力のあるクラブとなるよう、努力して

いく所存です。

会社には「社風」があり、学校には「校風」があるように、「神戸東クラブ風」の魅力あるクラブにしていこうと考えております。

さて、本年度の委員会活動は、各事業の「選択と集中」を基本とし、委員会全体で取り組み、成果を実感できるような事業にしていきたいと思っております。特に、ロータリークラブの根幹活動である奉仕活動についても、「選択と集中」の基本原則のもと、野々村年度で見いだされた新しい芽、とりわけ障害児の就労支援問題にどのように関わっていくのかなど、質の高い発信力のある奉仕事業計画を、各奉仕委員会と一緒に考えていきたいと思っております。

又、新しい理事や正副委員長 方には、クラブ全体で支えていくと共に“若い力”“新しい力”を育ていけるような仕組み作りにも取り組んでまいります。

会員の増強についてですが、ここ数年、日本のロータリークラブは会員数の減少には歯止めがかからず、各クラブがこの問題に頭を抱えています。我クラブでも、2000 年には 108 名であった会員数も、一時は 100 名を割り込む状況でありましたが、様々な努力の結果、2013 年 12 月には、再び 108 名を取り戻しております。しかし、平均年齢等においては、若さと活力のあるクラブと比較すると随分高くなってきています。

又、この地区では 74 のクラブがりましたが、会員数が徐々に減少し、2013 年 9 月末と 2014 年 6 月末に R I を脱会するクラブが出てまいりました。現在では 72 クラブになっております。我クラブも、この課題をいかに乗り越えていくかを考えなければなりません。



現在の例会場で例会を行い、事務局を設置し、今後の消費税の増加等を考えますと、110名以上の会員が必要になってくると思います。

女性会員についてですが、我クラブのように会員数も多く、クラブ運営も順調に進み、会員数が維持出来ている状況では、今まで通り男性会員のままで良いのではないかとこの考え方もあります。ただ、前年度に行われた我クラブの会員意識調査では、8割近くの会員が女性会員の受け入れに寛容になってきているという結果が出ています。また、世界の流れは、ロータリークラブだけでなく、あらゆるところに女性が進出してきています。我クラブも、今後この課題をもう少し考えていかなければと思います。

最後にCLPですが、これは効果的なクラブにするシステムです。CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)を理解するには、DLP(ディストリクト・リーダーシップ・プラン)から入らなければなりません。どちらも地区とクラブの「時間対効果と費用対効果」を最大限に引き上げていく運営上の組織構成のことであります。

我クラブのような大きなクラブではあまり急がず、理解を深めながら、準備を進め、機が熟すのみを、実行に移して参りたいと思います。

これらの課題を、一歩ずつ進めながら「選択と集中」を基本に各事業の見直しを行い、より希望に満ちた光輝く、皆が少しワクワクするようなクラブにしていこうと思っております。

どうかこの1年間、会員、むつみ会、事務局の皆さまには、ご理解ご協力を賜ります事を、お願い申し上げます。





副会長
理事
クラブ奉仕委員長
吉井正幸

副会長を仰せつかりました、吉井正幸です。ロータリークラブで重責のあるお役を拝命した時にいつも頭に浮かぶのが「私なんかでいいのかな？」と「大変だなあ！」この二つのフレーズです。そしてお受けした以上は精一杯、努力して務めようという心で誓っています。

「希望を抱いて 輝きを！」の会長テーマに則り、ワクワクして楽しい神戸東RCになるように、頑張りたいと思います。どうしても会長・幹事は張り切りすぎますので会員の目線にたちまして、サポートをして行きたいと思っています。

副会長はクラブ奉仕委員長を兼ねていますので、クラブ奉仕委員会の委員長をご紹介します。

鎌田哲夫出席委員長はロータリー経験豊富でもありロータリー理論も素晴らしいです。クラブ奉仕委員会の副委員長もお願いをしています。

山崎仁嗣親睦活動委員長は幹事経験者でロータリーの基本である例会受付、また新入会委員の受け皿にもなりますので若い力を育てて頂けると思います。

多田善計家族委員長は職業柄お金に関係する

委員会が多かったのですが、実は趣味人で楽しい家族会をして頂けると思います。

樫野孝人プログラム委員長は人脈、お顔の広さは抜群ですので楽しい例会プログラムを楽しみにしています。

藤本義洋週報委員長は週報編集経験豊富で議事録でもある週報を正確に作成して頂けると思っています。

田中義明委員長は見かけによらず繊細なセンスで楽しい会報を作って頂けると思っています。

森本一裕ロータリー情報委員長は本当は真面目なアイデアマンで森本ワールド全開のラウンドテーブルの開催を期待しています。

梅田稔会員増強委員長は若い会員候補人脈が豊富ですので全会員にもご協力をお願いして魅力ある新会員の入会を期待しています。

樽本久会員選考・職業分類委員長はサプライズ人事だと思いますが、乙守年度全体を大所高所より見て頂けてクラブ奉仕委員会が引き締まったと思います。

以上がクラブ奉仕委員会の委員長の方々です。よろしくお願いいたします。

そして副会長のもう一つの大きな仕事、中締め挨拶がありますが、歴代の副会長のように「立板に水」というようには参りませんで、「洗濯板にトリモチ」になるとは思いますが、そこはロータリアンの熱い友情と優しさでお許し下さい。

定款細則に副会長は会長不在時に代行すると規定があるようですが、乙守会長は健康に留意してジムにも通い始めたとお聞きしていますので代行任務は全くしなくて良いと確信しています。

どうかこの1年間ご指導ご支援を賜り乙守・澤田氏が「神戸東クラブ風」の魅力が感じられ、輝けますようによろしくご協力お願いいたします。



幹事 理事 澤田 正 樹

神戸東ロータリークラブ創立 60 周年還暦の年度も終わり、いよいよ次の時代に向けた、新しいスタートの年が始まります。乙守丸の出航です。乙守船長は、まず、魅力的な記憶に残る全員参加型イベントを企画していきたいと述べておられます。

しかし、これらのイベントや事業も、会員の皆さんが、単なる傍観者ではだめです。皆さん一緒に必ず参加しましょう。参加して、体と心を動かさないと、感じる事はできません。参加して、何かを感じないと、親睦感も生まれず、充実感のある奉仕活動もできません。イベントに積極的に関わっていく中で、奉仕の気持ちが自然に現われ、それが、周りにいる人の心を揺さぶり、親睦信頼の絆が強くなっていくものと思います。きっと楽しい今年度の活動や行事に、皆様積極的に参加していただき、労は惜しまず、また、心を開いて、楽しんでいただければ、この1年、広大な、時には荒れ狂う、時には無風のロータリー海を渡りきることができると思います。私も、幹事、いや航海長、執事として、楽しい船旅になりますよう、いろんな形で誠心誠意お役に立ちたいと思っています。ここにいる皆さん全員がこの乙守丸のクルーです。全クルー一丸となって荒海を乗り越えましょう。きっと、希望が湧き出てきて、光輝く

明日を約束する神戸東クラブ風が後ろから順風として吹いてきて、我々を押してくれます。思い出深い1年にきっとなります。皆さん、積極的に関わって下さい。

最後になりますが、神戸東クラブのホームページのリニューアルが計画されていて、前年度からの継続案件です。岩野会員、山本裕計会員のご尽力により素晴らしいものになると思っています。ここで一つお願い事です。これにはお金がかかります。皆様のご理解をいただければ幸いです。



一年間ご支援をよろしくお願ひします。



国際ロータリー第 2680 地区
ガバナー 滝澤 功治 (神戸須磨)

今年度の RI の Gary C.K. Huang 会長のテーマは、「LIGHT UP ROTARY!」「ロータリーに輝きを!」です。会長は、このテーマについて、「貧困や飢餓などの世界中の暗闇にロータリーの光を当てよう。」と話されました。会長はこのように、LIGHT UP という言葉を他動詞のように使用されていますが、この言葉は、自ら明るく光り輝くという自動詞の形で使用されることもあり、日本語訳の「ロータリーに輝きを」も、そのニュアンスからは、そのように理解の方が素直なような気がします。

ところで、国際ロータリーは、ロータリーが現在どういう状況にあり、今後どの方向に、どのように進むのかを明確にするために、2010年に「戦略計画」を策定しました。「戦略計画」は「3つの優先項目」と「中核的価値観」で構成されていますが、この中で柱となるのが「3つの優先項目」、すなわち「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」及び「公共イメージと認知度の向上」です。また、ロータリー財団は「未来の夢計画」を策定し、前年度から、全世界で実施しました。この「未来の夢計画」は6つ重点分野を掲げていますが、疾病予防、水と衛生設備というように人道的奉仕活動を中心に据えています。このように国際ロータリーの活動は、全体として明らかに人道的奉仕に重心を置いています。国際ロータリーの Gary C.K. Huang 会長が LIGHT UP という言葉を他動詞として用いているのは、そのような文脈でとらえるのがわかりやすいと思います。

他方、「戦略計画」は、ロータリー創立以来の不変のロータリアンの精神として、5つの中核的価値観、すなわち親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップを掲げています。この中で、「高潔性」がロータリーにおいて最も重要視されるべき価値観であることは、「ロータリーの目的」(旧「ロータリーの綱領」)の第2や、ロータリアンの行動準則として定められている「ロータリーの行動規範」の規定からも読み取れると思います。このように「高潔性」はロータリーの価値観を最もよく表し、ロータリーをロータリーたらしめる所以のものであり、これこそ職業奉仕の理念に相違ありません。私たちは、これを日々実践することによって、自らを、そしてロータリーを明るく光輝くものにしないとはならないと考えます。これが LIGHT UP と言葉を自動詞としてとらえたときの理解だろうと思います。

このように2つの観点からの見方をお話すると、とかく、どちらがより本質的なのかとか、どちらが優先的なのかという文脈で語られがちですが、私は、そのようにいわゆる「二項対立的」にとらえるのではなく、そのどちらもがロータリーにとって本質的かつ重要なものであり、ここは2つの考え方に「肯定的な折り合い」を付け、いわばそれらを車の両輪のようにして、ロータリーは活動していかなばならないと考えています。

最後になりましたが、当地区の運営に関し、今後地区大会や、今年度、国際ロータリーが提唱している「ロータリーデー」の開催等で、貴クラブの皆さまには格別のご協力をお願いすることになるかと思います。どうぞよろしくお願いいたします。





職業奉仕委員長
理事 横山 公一

今年度職業奉仕委員会を担当させて頂く横山公一です。宜しくお願いします。

先日、地区研修会で、職業奉仕について勉強をさせて頂きました。その中で、「ロータリーのロータリーたる所以は、職業奉仕の実践にあり」と言う事でした。

では、その職業奉仕の実践とは何かと言う事でございますが、いろいろな認識があるかと思いますが、基本的な事は、例会で各会員が自分の職業について話し、お互いの職業について学びあうと言う事のようにございます。

もう一つは職業奉仕委員会の大事な役割である職場訪問を通じての研鑽であろうかと思えます。前年度は光葉さんのご協力のもと、ゴンチャロフさんにて就労支援の実態について勉強をさせて頂きましたが、この職場訪問に関しましては、勉強させて頂ける所の情報がございましたら、是非お教え頂きたいと思えます。

委員会は副委員長に大澤さん、委員に向井さん、則岡さん、橋本さん、壺井さんと心強い方々ばかりですので、乙守会長の方針の下、1年間皆さんにお知恵を借りながら、しっかりとやっていきたいと思えますので、宜しくお願い致します。

それから、一つご報告を申し上げます。先週、第一回目の職業奉仕委員会を、乙守会長・澤田幹事のご参加を頂き開催させて頂きまし

た。約2時間ほどあれこれ協議したわけですが、皆さんの情熱・知識・人的ネットワークの広さに感服した次第です。

委員会の活動の2本柱である職場訪問と10月の職業奉仕月間での卓話に関する、色々な切り口で提案が出ました。

今後、会員の皆さんのご協力を得ながら具体化したいと思いますので、どうか宜しくお願い致します。



社会奉仕委員長
理事 吉田 茂

今年度社会奉仕委員会の委員長を拝命致しました吉田 茂でございます。一年間色々と皆様がたにお願いを致しますが、よろしく願いいたします。

今年度会長テーマ「希望を抱いて 輝きを！」にそって社会奉仕委員会を運営していきたいと思えます。障害児の就労支援問題にどのように関わっていくのか、質の高い発信力のある奉仕事業計画を考えていくつもりです。じゃあどのように関わっていけばいいのでしょうか。

当委員会ではまず、子供達の大変心待ちにしている青陽東養護学校と友生支援学校の招待ポウリングを通じて運動の喜びや達成感を体感し生きていく喜びを実感してもらう。去年の招待ポウリングの事ですが校長先生との意見交換会を開いたのですが、その声が聞こえなくなるほどの歓声をあげていました。青陽東養護学校の参加メンバー 300 名は当然のことですが友生支援学校の 90 名の参加メンバーでさえ意見交換会の声が聞こえなくなるほどでした。嬌声や歓声や拍手で全員が笑顔で生き生きとしていました。

他にプロバスクラブの支援や日本熊森協会の支援も引き続きしてまいります。

まだまだ日本の障害者に対する認識や援助対応が遅れています。また本人達にも勉学意欲や就労意欲の向上も必要不可欠です。就労支援プ

ロジェクトの一貫としまして「心の扉を開くハーモニー」を開催いたします。

コンサートを体験したことのない子供達にライブの迫力と心に訴えるものを体感していただきます。アカペラグループ「クイーンズ・ティアーズ・ハニー」に歌っていただき声だけでもこんなことが出来るんだと体感して、自分自身のうちにもあらゆる可能性がある事を知ってもらう。自分自身の中にどんな可能性があるのか見つける為に色々なものに興味を持ち勉学意欲の向上につなげる活動をしていきます。それが自分に向いてる能力を探し出し、会長テーマの「希望を抱いて 輝きを！」のように子供達に希望をあたえその能力を発揮出来る仕事を探せるように、未来に輝きが灯せるように、就労支援を行います。

出来る事はわずかですが子供達に少しでも輝いてもらうために努力する所存でございますので皆様のご支援とご協力をお願いいたします。





国際奉仕委員長
理 事 香 山 道 宣

この度、国際奉仕委員長を拝命させていただきました 香山道宣です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。私自身、まだまだロータリー歴も浅く、経験不足でございますが、この一年間、ひとつひとつ学びながら務めて参ります。

委員会の活動内容としましては、

シスタークラブとの交流を積極的に維持推進。
地区ならびに国際交流を通じた国際奉仕活動への支援・参画。

VTT（職業研修チーム）の協力支援

ロータリー国際親睦活動へ協力。

世界理解月間に際し、適切なプログラムの実施を掲げております。

その中でまず出来る事から推進していきたいのが、シスタークラブとの交流・維持推進でございます。6月26日から4日間、シンガポールへ行って参りました。参加者は乙守典厚会長ご夫妻、村元信吾直前国際奉仕委員長、井元憲生国際奉仕副委員長と私の5名です。

では、シンガポールRCとの交流した模様を画像にてご報告いたします。

ご覧いただきましたようにこのたびのシンガポール訪問は一言で申しますと「国際交流は楽しい。」という言葉につきるかと思えます。シンガポールRCの方々が神戸東RCを大切なパートナーとして思っただけにしている事をこの目で実感いたしました。この友情関係の伝統を築い

ていただいたクラブ会員の方々に感謝申し上げますと共に今後さらに維持推進しなければならない責任を痛感いたします。

本年度は乙守会長のテーマ「希望を抱いて輝きを！」を念頭に、提唱されている「若い力・新しい力」のひとりとしてフットワーク軽く活動していく所存でございます。

どうか会員皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます、国際奉仕委員長就任のあいさつとさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。





青少年奉仕委員長
理事 榊原志朗

今年度の青少年奉仕委員長を拝命いたしました榊原志朗です。

青少年奉仕は、2010年に、(その時の名称は新世代奉仕でしたが)それまでの4大奉仕に加えられ、以降5大奉仕の一つとされたものですが、先進国では、どこも高齢化問題を抱えており、ロータリーにおいても、将来のリーダー、またロータリアンとなるべき青少年を、より重視して活動しようということと理解しています。

青少年奉仕の重要性は、1949年に、「ロータリアンは青少年の模範」(Every Rotarian An Example To Youth)のスローガンが採択された当時から認識されていたはずですが、最近になって、更に格上げされた状況になっていることは、青少年に対して、よりロータリアンをアピールする活動を行うことにより、少しでも会員数の減少を食い止めたいという考えもあるのかなと感じています。

そこで、今年度の青少年奉仕委員会では、乙守会長のテーマである、「希望を抱いて輝きを！」を青少年に伝えるため、「ロータリーのおじさん」ってカッコイイと思わせるような活動、ふるまいをしていこうと思います。そんな活動をするに相応しいメンバー(福原副委員長、吉田(正)尾山、中尾、土田)でこの1年を頑張ります。

現在予定しております今年度の当委員会の主な活動は、

- (1)9月の「青少年のための月間」において、まもなくフランスから帰国予定の、当クラブからの派遣生、島本佳奈さんの青少年交換プログラム参加報告を卓話(9月30日の予定)として実施すること、
- (2)同じく9月23日(秋分の日)に、神戸市中央区少年団親善野球大会を後援し、当日を当クラブのロータリーデーとすること、
- (3)11月30日(日)に王子動物園において「(童話作家の)永田萌さんと写生をする会」を後援し、同様に当日をロータリーデーとすること、
- (4)5月に開催される予定のRYLAセミナーに当クラブから2名を派遣すること、
- (5)来年度のための引継ぎ活動として、青少年交換プログラムあるいは新世代交換プログラムへの派遣生候補者の探索や、ホストファミリーをお引き受けくださる家庭の登録を推進すること、および
- (6)その他、青少年に対してロータリークラブをアピールできる活動の種を見つけること等です。

1年間、委員会メンバーの全員参加で、できることを無理せず、但し、かっこよく行うことを基本方針として精一杯活動しますので、よろしくご協力くださいますようお願いいたします。



神戸港の夜景を楽しみながら親睦会を開催

- 神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて -



本年度第1回親睦会は7月22日(火)18:00より神戸メリケンパークオリエンタルホテル「桃花春」のメインルームを貸し切って、総勢60名の皆様にお集まりいただき、楽しんでいただきました。

今回の親睦会の目的は「年度の立ち上がりの時期に各委員会毎に大いに盛り上がっていただいて親睦を図ろう」ということで、各テーブルは委員会ごとに設定し、桃花春のおいしい中華料理といつものながら今井会員選りすぐりのワインで、文字通り大いに盛り上がっていただきました。

白田会員の司会で始まり、乙守会長のあいさつに続いて、執行会員のご発声で乾杯、ピアノ峰愛美子さんとギター和久哲郎さんの大人っぽいジャズで和やかな雰囲気の中に会が進み、新入会の中田会員、吉田会員、貝沼会員、塩谷会員の簡単なお挨拶もいただいて、最後はいつも通り「手にてつないで」を全員で唱和の後、吉井副会長の中締めで楽しい会を締めくくりました。

皆様、ご協力ありがとうございました。

(親睦活動委員長 山崎 仁嗣)



「会員増強について」

会員増強委員長 梅田 稔

本日は貴重なお時間を頂き誠に有り難うございます。今月は増強月間という事で会員増強についてお話しをさせていただきます。

始めに、ゲイリー・ホアン RI 会長からの会員増強のお願いのビデオをご覧ください。(5分間ビデオ上映)

RI 会長直々に世界に向けて会員増強のお願いを発信されているという事で増強が世界的に重要な課題だという事を改めて認識致しました。他にもロータリーのホームページでは増強月間にちなんで色々な取組みが提案されています。続いて他団体の「会員増強」の取組みについて取材をもとにご報告させていただきます。

まず、神戸商工会議所について、会員減少に危機感を持って取り組まれており、主な取組みは新設法人への DM 発送と訪問、1 議員 1 社紹介運動、1 会員 1 社紹介運動、提携金融機関からの紹介、会員増強月間の実施という事です。

次に中小企業家同友会について、会員数は増加しているとの事。年 3 回ウエルカム同友会という会が実施されており例会とは別に増強に特化した会で入会候補者の為に中小企業家同友会についての詳しい説明などが行われます。

次に神戸青年会議所の仮入会というしくみは 4 月～9 月の 5 ヶ月間青年会議所について知る期間が設けられているというものです。入会す

る前に体験できるという事で意志決定のしやすさに繋がっていると思います。神戸経済同友会については会員増強に特化した委員会はなく月 1 回の理事会で会員の増減についての報告がありその都度対策をとる程度という事でした。

最後に現在候補者リストをもとに増強活動を行っていますが、各々に対しての効果的なアプローチについて情報をお寄せ頂きたいと思いません。又、若い会員の方々からの御協力もお願い致します。乙守会長から勧誘用の解りやすいパンフレットも頂いておりますので、1 人でも多くの御紹介を賜ります様お願い申し上げます。





余韻会 (俳句同好会)

平成二十六年七月九日 於 西村屋 花みかげ

子ら育ちどの夏掛も丈足らず

本郷 桂子

軽々とわが身に添へり夏蒲団

執行 執艸

酒酌みて大の字になる夏蒲団

高石 潜菴

雨上り百合はつきりと瞬きぬ

白羽 子誠

冷索麵恋しき昼の日差しかな

壺井 仙岳

ガラス器に六月を盛る小料理屋

吉井 聖倅

狭庭にも絵画のやうな濃紫陽花

松原 氣宏

幼な児の眠るピンクの夏蒲団

池西 清栄

六月や鳴く鳥の声高くなり

神品 平

人に倦みふて寝する身に夏蒲団

橘 恵子

余韻会 (俳句同好会)

平成二十六年八月二十七日 於 西村屋 花みかげ

朝顔やこなす日課の一万歩

本郷 桂子

発心のラジオ体操夏の朝

執行 執艸

嵐きて航海祈る星の夜

高石 潜菴

蝉の殻新聞受けに脱ぎ捨てて

白羽 子誠

茶を淹れて無口な二人星祭

壺井 仙岳

鳥羽の海夜も楽しや星祭

松谷 泰山

きのふ青今日は赤咲く朝顔よ

吉井 聖倅

朝顔を眺め五感を鍛へをり

松原 氣宏

朝顔や蔓を巻きまき登り咲く

池西 清栄

星祭叶はぬ夢を描きけり

香山 道宣



絵と文 角田 嘉宏

「ヌードA」

少し昔、神戸に「ルネッサンス会」というアマチュア絵描きの会があった。主催者は永く当クラブに在籍された野澤太郎氏、二紀会の巨頭中西勝先生のおおらかなご指導を受け、それぞれ自由勝手な画風で絵を描いた。最も難しいのはヌードだった。

CONTENTS

3 役就任挨拶	1
ガバナー公式訪問	5
4 大奉仕委員長就任挨拶	6
第一回会員親睦会	10
会員増強について	11
余韻会	12

編集後記

今年度の会報第一号をお届けいたします。
 およそ大雑把なわたくしが委員長を拝命いたしてからすべてに厳格な石橋委員より、ケツを叩きまくられましてようやく発行となりました。写真はすべて石橋さんの渾身のショットになっております。副委員長の弘田さんをはじめ優秀な委員のメンバーに囲まれ、わたくし、委員長はなにもできんで委員会（いいんかい!）で1年務めて参りますのでよろしくお願ひいたします。
 尚、第2号は平成27年2月末、第3号は7月末の予定です。

雑誌会報委員長 田中 義明